

令和3年度 看護科教育研修計画

岩手県立大船渡病院の教育理念「病院理念、看護科理念に基づき医療チームの一員として質の高い看護実践ができる人材を育成する。」

【教育目標】

1. 根拠に基づいた看護実践能力を養い、問題を解決できる
2. 医療チームの一員としての役割を自覚し、信頼関係を構築できる
3. 自ら目標を持ち自己実現していくため、主体的に学ぶことができる
4. 組織目標達成に向けて、役割遂行ができる

《研修計画の考え方》

- 組織の目標・課題に対して「柔軟な発想で問題解決できるリーダー看護師の育成」や「クリニカルラダーレベルに応じた自己の役割課題を見出し解決できる ジェネラリストの育成」ができるような研修の企画
- また、自分にとっての生きがい、働くことの意味や価値を明確にできるよう支援していきます。

	研修名	対象	目的	内容	担当(企画、運営)	講師予定者	日時					
テーション	新採用 転入 復職者 オリエンテーション	新採用者 転入者	大船渡病院看護科への早期順応を図る	看護科オリエンテーション 院内案内	看護科	看護科オリエンテーション 要項参照	4月1日(病院) 4月2日(看護科)					
		中途採用者・復職者	大船渡病院看護科への早期順応を図る (看護師・看護補助者の復職・中途採用者全員に実施)	中途採用及び転入看護師研修シートに沿った研修	看護教育委員会 看護教育委員会 看護師長補佐会(看護補助者)	副総看護師長(看護事務室) 教育専従看護師長 医療安全専門員、感染管理認定看護師・接遇研修指導者/他	適時(自部署で計画)					
新人看護職研修	新人看護師	新人看護師	「新人看護職員研修ガイドライン」に沿った育成	<ul style="list-style-type: none"> ・シャドローイング研修オリエンテーション ・災害看護/救命救急処置技術(BLS研修) ・フィジカルアセスメント ・キャリア開発/ポートフォリオ ・PNS(新人支援) ・PNSマインド研修 ・夜勤オリエンテーション ・看護記録 ・重症度・医療看護必要度 ・心電図研修 ・苦痛緩和・エンゼルケア ・輸血看護・取り扱い(OJT) ・他部署研修 ・多重課題への対応 ・インスリンの知識 /手技(OJT) ※ e-ラーニング活用 自己学習	主任看護師会(A) 新人教育担当	<ul style="list-style-type: none"> ・救急看護認定看護師 ・教育専従看護師長 ・主任会(PNS担当) ・卒後2年目看護師 ・学会認定輸血療法認定看護師 ・臨床検査技師 ・緩和ケア認定看護師 	※新人年間研修計画参照					
								基礎看護技術等の体験学習をとおし就労に対する不安軽減とスムーズな職場適応を図る	医療局新人技術研修 I・II・III	主任会(A)・認定看護師会	<ul style="list-style-type: none"> 医療安全専門員・感染管理認定看護師 皮膚排泄ケア認定看護師・薬剤師 救急看護認定看護師・臨床工学士 	技術Ⅰ 4月22日・23日 技術Ⅱ 6月～7月 技術Ⅲ 9月～10月
								支援の場を振り返り、フレッシュパートナー、クリニカルコーチの役割について振り返り、実践につなげる	<ul style="list-style-type: none"> ・チェックリスト(①到達目標評価票②業務習得度評価票③夜勤チェックリスト)に基づいた評価とグループワーク(新人育成方法の共有、OJT指導、精神的支援など) ・各チェックリストの評価 ・e-ラーニング視聴推奨(看護共育コース) 	主任会(A)	3回/年(5月・9月・2月)	
実地指導者研修 フレッシュパートナー	フレッシュパートナー (レベルⅡ以上)											
実地指導者研修 クリニカルコーチ	クリニカルコーチ (レベルⅣ以上)											
実践能力別	レベルⅠ研修	レベルⅠ未到達者 卒後2年目以上		<ul style="list-style-type: none"> ・看護過程の展開(卒後2年目以上) (前年度看護実践能力評価で、看護の核となる4つの力がBに達しなかった項目に対して実践しレポートをまとめる。) 実践報告会(自部署で開催し、フィードバックを受ける) 新人看護師 ・1年の振り返りレポート (ゴールシート達成に向けた取り組みから学んだこと等)		教育委員会(研修) レベル研修担当	看護過程の展開 集合研修 6月3日(木) 中間研修 7月1日(木) 新人看護師振り返り報告会 1月:①自部署で発表 ②他部署の1年生の報告会に参加し感想を述べる(1回以上)					
	レベルⅡ研修	レベルⅠ到達者	<ul style="list-style-type: none"> ・「臨床看護実践能力別教育プログラム」に沿って実践し能力の向上を図る 	受け持ち患者の看護過程の展開(看護理論を活用) ・研修内容の説明(看護理論の紹介・活用) ・ケースレポートの書き方 ・進捗状況報告(集合研修) ・実践報告会(自部署で開催し、フィードバックを受ける)	教育委員会(研修) レベル研修担当 ★高田病院合同研修	集合研修 6月25日(金) 中間研修 7月23日(金)						
	レベルⅢ研修	レベルⅡ到達者	<ul style="list-style-type: none"> ・県立病院統一研修「クリニカルラダーレベルⅠ～Ⅴ」研修計画内容参照 ※JNAクリニカルラダー活用の手引き参照 レベルⅢ～Ⅴ実践評価 4つ全ての能力を習得するまで、事例毎に評価を行う→レベル総合評価は、年度末で	①受け持ち患者の個別的な看護過程の展開 ・「看護の核となる実践能力」の4つの力について看護実践し、レポートにまとめ 報告4つ全ての能力を習得する ・実践報告会(自部署で開催し、フィードバックを受ける) ②看護研究計画書作成・発表(次年度実践・報告) ・文献検索・看護研究計画書の書き方・データ収集と分析方法(集合研修) ・進捗状況報告(レポートのまとめ方他)・集合研修 ・研究計画書発表会(自部署で開催し、フィードバックを受ける) ③看護研究研修・2年目(実践・報告) ・集合研修「研究論文のまとめ方」「プレゼンテーション」(6月) ・研究発表会(集合)	教育委員会(研修・研究) ①看護実践・・・レベル研修担当 ②③看護研究・・・研究担当者 講師:研究チーム 指導者研修修了者 ★高田病院合同	看護過程の展開 集合研修 7月8日(木) 中間研修 8月5日(木) 看護研究Ⅰ 4月28日(水) 中間研修 6月8日 計画書発表2月 看護研究Ⅱ 6月22日 論文発表会2月予定						
	レベルⅣ研修	レベルⅢ到達者	<ul style="list-style-type: none"> ・実践報告形式 レベルⅠ～Ⅲ 自部署開催 スタッフよりフィードバックを受ける レベルⅣ～Ⅴ 集合研修で開催 基本的に合同で開催 	幅広い視野で予測的判断をもった看護展開の実践 1)実践した看護についてまとめ発表する (1)研修取組について説明 ①レベルⅣの学習内容について(複雑な状況の患者、多重課題の患者などを選定し実践) ②レベルⅣ「看護実践計画・報告書」について (2)習得を目指す力 レベルⅣ「看護の核となる4つの力」を全て習得する (3)具体的行動計画 ①看護実践計画・報告書作成 ②看護実践 (4)進捗状況確認(集合研修) (5)実践報告会・集合研修 (参加者からフィードバックを受けながら看護実践を振り返る)	教育委員会 ★高田病院合同研修 レベル研修担当	集合研修 5月7日(金) 中間研修 6月11日(金) 実践報告会 12月10日か16日						
	レベルⅤ研修	レベルⅣ到達者		より複雑な状況にある患者にニーズに対応して多職種と連携しリーダーシップを発揮して看護を実践する 1)看護実践としてまとめて発表する (1)研修取組について説明(①レベルⅤの学習内容について ②レベルⅤ「看護実践計画書・報告書」について) (2)習得を目指す力 レベルⅤ「看護の核となる4つの力」を全て習得する (3)具体的行動計画 ①看護実践計画・報告書作成 ②看護実践 ①看護実践計画書・報告書作成 ②看護実践 (4)進捗状況の確認(集合研修) (5)実践報告会・集合研修(参加者からフィードバックを受けながら看護実践を振り返る)	教育委員会(研修) ★高田病院受講参加 説明者:レベル研修担当	集合研修 5月13日(木) 中間研修 7月15日(木) 実践報告会 12月10日か16日						
高田病院「地域看護研修」	卒後2年目以上	地域病院との連携推進	<ul style="list-style-type: none"> ・研修期間2日間(病棟・外来看護・訪問診療と訪問看護の実際/地域での院外活動へ参加) 	教育委員会 教育専従看護師長		県立高田病院(外来・病棟) 9月						
地域研修	卒後3年目以上	地域との連携(医療・介護・福祉)を推進する	退院支援Ⅰ「訪問看護ステーション」実践報告	教育委員会 教育専従看護師長		9月～10月研修 (実践レポート提出12月～1月)						

			退院支援Ⅱ「施設訪問」実践報告	教育委員会 トピックス担当		9月～10月研修 (実践レポート提出12月～1月)	
	PNS研修	看護師	基本に基づくPNSを実践できる	①・PNS監査 ・コーディネーターの役割評価 ・PNSミッション評価を行い フィードバック	主任会(B) OJT		
	時間内 e-ラーニング研修	全看護師	最新の知見を学びながら、自己の課題解決に むけた看護の取り組みができる	自己課題解決に向けたテーマを視聴 実践・レポート提出・自部署で発表、フィードバックを受ける	教育委員会 e-ラーニング担当	e-ラーニング活用 時間内視聴計画的に進める	e-ラーニング視聴 12月上旬で終了 実践レポート提出・発表1月末までに終了
管理	主任看護師研修	主任看護師	看護管理の基本的事項の習得を図り、 主任看護師としての役割と責任の遂行	1) マネジメントリーダー(行動目標を意識)の活用 ①看護管理実践・報告 ・自部署や委員会活動・自己の役割など課題を現状分析し PDCAサイクルをまわしながら実践 ②南部地区研修(実践・報告)	教育委員会	e-ラーニング活用	4月～5月 実践計画作成・提出 9月 進捗確認 1月～12月 実践報告会(OJT)
	看護師長補佐研修	看護師長補佐	看護師長補佐としての役割発揮と発展的な 看護管理実践力の向上	1) マネジメントリーダーの活用 2) 労務管理(安全の確保・公平な勤務・教育的視点) ①勤務表の作成の理解(年間3回以上)・勤務変更等…勤務表作成の日(1 日/月) 3) 入院基本料の理解 4) 業務管理(マニュアルに基づいた看護師長代行)ができる ・南部地区研修(人事交流研修)実践・発表(看護師長補佐会) ・e-ラーニング視聴(テーマ倫理) 倫理カンファレンス実施	教育委員会	講師:副総看護師長 ①勤務表作成 講師:医事経営課 ②入院基本料	①5月17日 14:00～14:30 ②6月21日 14:00～14:30
	看護師長研修	看護師長 副総看護師長 総看護師長	新たな知見を学び、社会・看護の動向をとらえ た管理運営とキャリア開発の支援と人材育成が できる	・e-ラーニング「看護管理コース・看護管理特別コースⅡ」から3テーマ視聴 (年間) ・看護管理研修(伝達講習または、企画研修を一年間1回) ・南部地区研修 実践・発表(看護師長補佐会)	教育専従看護師長 教育担当看護師長 看護師長会	・看護管理研修(第4火曜日) ・e-ラーニング活用	
専門	スキルアップ研修	全看護師	各専門分野の特徴を活かした研修	・災害看護(BLS研修) ・がん看護研修①基礎編(講義・テスト) ②ステップアップ(基礎編修了者)編(事例検討・実践報告) ・退院支援・社会資源活用…(各部署の専任看護師が企画・運営) ・静脈注射プログラムⅡ ・地域研修Ⅰ・Ⅱ ・看護研究	主任会A 認定看護師会 退院支援専任看護師 教育委員会(研修・研究)	各分野の専門職、 認定看護師、 専門研修終了者、 退院支援専従看護師	
総合	トピックス	看護科職員	看護科に期待すること	院長講話 (1回/年) 配信予定	教育委員会 トピックス担当者	院長	6月
			看護科の方針・取組について	総看護師長講話 (3回/年) 配信予定		総看護師長	6月・9月・2月
	重症度・医療看護 必要度研修	新採用者・転入者 中途採用者	適切に看護必要度を記載できる 記録の精度を上げ、看護の質向上につなげる	根拠となる看護記録の書き方・考え方 動画・テスト	教育委員会 トピックス担当者	講師:院内指導者研修終了者もし くは院内評価者研修終了者	4月30日
	接遇	看護科職員	医療現場における接遇が実践できる	集合研修・OJT	主任会C 職場研修委員会	接遇指導者研修修了者	
看護 実務	看護補助者研修	看護補助者	診療報酬要件に基づき開催 集合研修による講義と技術研修 安全な業務が遂行できる 集合研修を通して看護チームの一員として 役割確認ができる	1)院長講話(4月～5月) 2)総看護師長講話(4月・9月・2月) 3)病院制度の概要及び病院の機能と組織・個人情報・守秘義務 4)接遇・倫理 5)医療安全に関する基礎知識 6)感染対策の基礎知識・技術 7)日常生活に関わる業務	看護師長補佐会	病院長 総看護師長 医事経営課長 医療安全専門員 感染管理認定看護師 担当看護師長補佐 他職種	別紙参照

